

サルイワツバキ（ユキツバキ）を新種として記載された本田正次先生の色紙

西山昇一氏から「本田正次先生の色紙を送ります」との電話をいただき、翌日（12月6日）その色紙が私のところに届きました。西山氏から次の文面が添付されていました。

「先日本棚を整理していたら、色紙が出てきました。昭和55年の正月に大宮いる友達から電話で、ユキツバキを命名した（本田）先生のお宅に伺ったのですがユキツバキの木がないとのこと、先生は高齢なので蕾のついた木を持って行きたいとのことでした。2月に入りまた電話で何とかならないかとのこと、雪が積もっていて、山で掘るわけには行かず、私の仕立ておいた、盆栽風でよければと囲いの中から掘り出し、当時はまだトキ（特急）の時代、2月の雪の中、一鉢をもって大宮まで行ったことを思い出しました。／先生は大変喜ばれたとのこと、その後色紙が贈られてきたのですが、すっかり忘れていました。」

その本田先生の色紙を私の所へ送ってきていただきました。私物化するのには、気がかりでしたので、預かったことを公表することにしました。その色紙の文面を以下のように、本誌「新潟県植物保護」に掲載いたします。私には「新潟の皆さん！ユキツバキにもっと関心を持ちなさい」とのメッセージと感じています。

なお、大宮にいる友達とは「森田和也氏」で元毎日新聞長岡支局長で転勤して本田先生と交流があったとのこと。

「謳歌せよ 越路の春を 雪椿」 眞砂路
裏に（昭和55年8月8日 本田正次）

（石沢 進）

（裏）

昭和五十五年八月八日
本田正次

